



### ▼せいか祭り

平成24年11月18日(日)のせいか祭りに、農業委員会は2回目の出展をしました。

アンケートやクイズに回答頂いた方には、抽選の結果、「精華町産の米」等を景品として渡しました。

# せいか

## 農業委員会だより 37号

も く じ

会長挨拶	2
青ト部会が京都府知事賞を受賞	2
農業者年金に加入しよう	2
管外研修の報告	2
農地パトロールの結果	3
農産物ブランド認証者誕生	3
農地の貸借を進めます	3
特産品開発	3
ここに「この人」	4
料理アラカルト	4
全国農業新聞	4
編集後記	4

2013年3月

編集発行/精華町農業委員会

〒619-0285 京都府相楽郡精華町南稲八妻北尻70

TEL: 0774-95-1903



せいか祭り



# 会長挨拶



農業委員会会長

尾崎 平宏

日頃は、農業委員会の活動に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年12月には、3年ぶりに衆議院の選挙がありました。金融緩和や財政の積極的な出動、成長戦略といろいろなことを行っています。TPP（環太平洋パートナーシップ協定）では、日本の農業が厳しくなると言われておりますが、参加国の中には、TPPをうまく利用して、工業生産部門で日本の家電メーカーを追い越し、国際競争力を増している国もあります。我々精華町農業委員としては、精華町に適した農業施策を推進することによって、農業の生きる道ができてくると考えております。

せいが祭りでは、昨年で2回目の出展を果たし、住民の方のご協力により、精華町の農業についてどのように感じてもらえるか等のアンケートをとることができました。

アンケートでは、4人に3人以上の方が家庭菜園や農業ボランティア等に参加し、農業に関わっていきたいと考えておられることが分かりました。また、改正農地法で位置付けられた利用状況調査を、農業委員が担当地域で行いました。その結果判明した荒廃地に対しては、指導等を行っています。地元の皆様のご協力で、荒廃地は徐々に解消されつつあります。任期の約半分が過ぎましたが、残りの半分は今までより一層、役割を果たしていこうと思っています。皆様方のご支援ご協力をお願いいたします。

## J A京都やましろ精華町青ト部会が

### 京都府知事賞を受賞



環境にやさしい農業推進コンクール表彰式が、12月1日（土）、京都府総合見本市会館で行われました。J A京都やましろ精華町青ト部会は周辺農家と協力し、地域全体で化学農薬使用量の大幅削減と害虫被害の抑制に取り組んでこられました。作物は市場から高い評価を受けています。今回の表彰は、こうした活動がみとめられたものです。

## 管外研修の報告について

平成24年8月27日、28日の両日、岡山県井原市農業委員会や星の郷青空市等を研修見学しました。

井原市は市域が広範囲にわたっており、農業委員会として広大な農地を守っておられます。大半は山林ですが、山林を活かしてピオーネを特産物として栽培されておられます。市が実施しているトップセールスや新品種の導入に、人や費用をかけ、ピオーネのブランド化といった、儲かる農業を目指

しております。現在、生産振興を図っている施設栽培等の特産物について、継続して担い手を確保、養成すると共に、今後、産地として発展させる為、都市近郊農業の利点を活かして進めていく必要があると思います。

研修委員長 向井 義博

## ～農業者年金に加入しよう～

### 加入要件

- ①国民年金の第1号被保険者
- ②年間60日以上農業に従事
- ③60歳未満である

### 農業者年金の5つのメリット

1. 積立方式で、安定した財政運営
2. 認定農業者には保険料の助成
3. 保険料は自由に選択
4. 税制面でも大きな優遇
5. 80歳までの保証がついた終身年金



## 精華町農産物ブランド認証者誕生

平成24年12月18日、精華町農産物ブランド認証者が6名誕生し、町長から認証書が手渡されました。この6名は、下記の要件をクリアし、認証されることとなりました。

このブランド認証制度は、精華町の農産物を認証することで、消費者の信頼を高めると共に生産者の農産物への安全・安心の意識付けを行っていくことが目的です。現在は直売所向けの農産物が中心ですが、今後、認証制度が広がっていくことを期待しています。

この後は、農業検査に合格すれば、認証マークが交付されますので、JAグリーンマーケットや愛菜館等で、認証マークが貼付された農産物が出荷される見込みです。

また、ブランド認証要件の1つであるエコファーマー認定者も増えており、エコファーマー認定マークも直売所で見かける事が増えると思われます。見かけられた際には、手に取ってみてください。

### ブランド認証



※精華町農産物ブランド認証制度とは、エコファーマー（土づくりと減化学肥料・減化学農薬を一体的に行う生産方式の導入計画を、知事に認定された農業者）になること、GAPを基にした町独自の基準を満たすことが要件で、町が生産者と農産物を認証する制度です。

※農家の皆様へ…ブランド認証制度にご興味を持たれた方は、精華町役場産業振興課までご連絡ください。

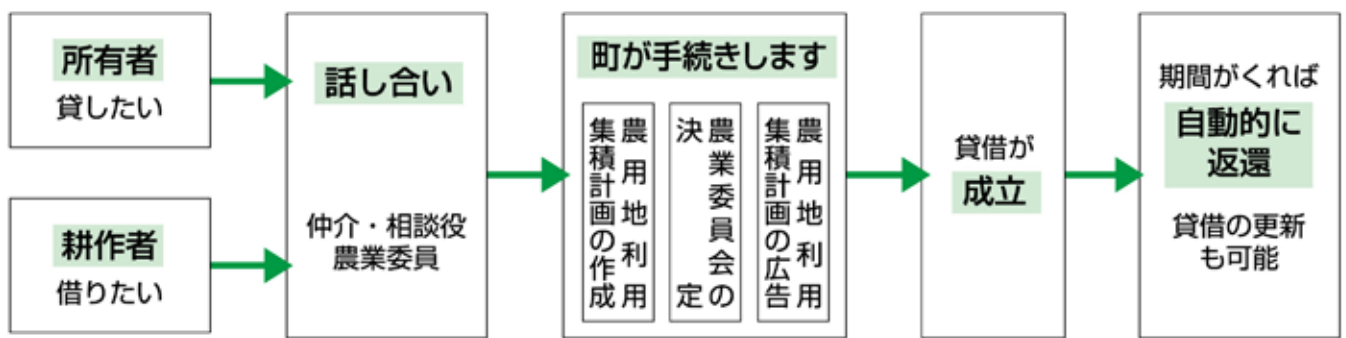


## 農地パトロールの結果について

平成24年12月4日から6日にかけて、農業委員会では農地パトロールを実施致しました。このパトロールでは、前年度に審議した案件を対象に、営農状況等を確認するために毎年実施しています。農業委員会では、今後も適正な農地利用が図られるよう、引き続き実施しますので、農家の皆様のご理解をお願いいたします。

## 農地の貸借を進めます

「もう少し農業の経営を拡大したい。」「安心して農地を貸したい。」とお考えの方はおられますか。兼業や高齢で耕作が難しくなり「誰かに作ってほしい。」「貸したい農地はあるけれども離作料のことや補償のことが心配」と思案している方がいませんか。利用権設定による貸借を利用してみたいはいかがでしょうか。



## 特産品開発

モンブーケは平成20年に華工房の特産加工品製造グループの1つとして設立され、現在4名で活動しています。メンバーにはブルーベリー・養蜂農家があり、ブルーベリー加工品を中心として、多くの種類の製品を広範囲に製造しています。毎年新製品を提案することを心がけています。

代表的な製品のフルーツソースでは、ブルーベリーやいちじく、蜂蜜いちじく等5種類、シヤムでは、いちじくや蜂蜜紅茶、木いちじく等6種類があります。その他、ドレッシングや菓子類、佃煮等20種類以上を製造しています。

JA直売所（グリーンマーケット、愛菜館）のほか、木津川アルプラザ内「木の津」、八幡市内「朝採り市場」で購入できます。お好きな味を探してみてください。いかがでしょうか。





# ここに「この人」

井上 和也さん



耕作面積  
 田「水稲」 109a  
 畑「万願寺とうがらし」等 53a

Q・水稲中心から、万願寺とうがらし栽培を始められたきっかけは何ですか？

A・昨年、万願寺とうがらし農家養成塾が開講され、塾生となりました。農家指導員の方から栽培に必要な実践的な知識・技術、JAとの連携、特に出荷先の紹介、相談もしてくれるとのことでした。

Q・とうがらしには種類が多くありますが、どうされるのですか？

A・昨年2棟でしたが、今年から3棟を増やし5棟になります。すべて万願寺とうがらしを作り、1000本になる予定です。

ただし、1棟は万願寺とうがらし養成塾が使うことになっています。

Q・今後はどのように考えておられるのですか？

A・私は現在54歳ですが、自分が作っていれば、子どもにも教えることができますので、自然に引き継げるようにしたいです。また、今まで家族で相談しながら農作業を行ってきたのですが、これからも家族を主体としてやっていきたいと考えています。

## 農業経営とくらしに役立つ

# 全国農業新聞

を購読しませんか！

毎週金曜日発行

購読料 1ヵ月  
600円

申し込みは

農業委員会事務局へ  
☎ 95-1903

地方版には、身近な情報が満載。

農業経営とくらしがさらに充実します。



## 料理アラカルト

# なばなとたらこのチーズ入り変わりおにぎり



### 材 料

(6人分)  
 精白米 840g プロセスチーズ 120g  
 なばな 120g しば漬 少々  
 たらこ 120g

### 作り方

- ①プロセスチーズは1cmの角切りにする。
- ②なばなはゆでて、細かく刻んでおく。
- ③たらこは焼いて、ほぐしておく
- ④ご飯の半量に②のなばなと半量のチーズを混ぜておにぎりを6個作る。
- ⑤残りのご飯に半量のチーズと③のたらこを加えておにぎりを6個作る。
- ⑥各1個をお皿に盛り付け、漬物を添える。

### <1人分の栄養価>

エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	脂質 (g)	カルシウム (mg)	食物繊維 (g)	塩分 (g)
601	18.7	7.4	210	1.5	1.5

(あすなる会より資料提供)

## 編集後記

岩手県陸前高田市で、地区の全水田120haが地震・津波による被害を受けた小友地区では、災害復興による農地の回復にとどまらず、新たな区画整理事業を行って担い手に集積しようと動き出したようです。

TPPを始めとして今後農業の担い手等、農業を取り巻く環境は厳しさをたどっています。

お互いに知恵を出し合い、「地域の声・情報」などをぜひ、地元の農業委員までお気軽にお寄せください。お待ちしております。

広報編集委員一同